

常任委員会意見交換会

多摩市議会の各常任委員会では、それぞれの所管にかかわる市政の課題について、市民等との情報共有や意見の聴取のため、必要に応じて意見交換会等を行っています。

今号では、昨年11月から今年の1月にかけて実施した意見交換会の内容をご紹介します。

総務常任委員会

1月25日、多摩センター商店会の理事の方を対象とし実施しました。

商店会の役員の方たちからは、困っていること、市政に対して望むこと、特に商店会で管理している装飾街路灯などについて、意見交換しました。

装飾街路灯の維持・管理について

多摩センター駅周辺の上之根大通りと京王相模原線北側の市道沿いには、平成8年(1996年)から、当時の都補助金なども使って設置されている装飾街路灯があります。この街路灯の電気料金の負担(商店会の会費収入のかかなりの割合になる)、材質が鉄の街路灯の維持・管理費用のこと、また上之根大通りにしても京王相模原線北側の市道にしても、商店・事業所はほとんどなく、実際には、市道を照らす通常の街路灯の役割を果たしている、などの率直な意見が出されました。

「装飾街路灯」以外の課題について

以上の意見のほか、「多摩センター駅の西側高架下の利用」、

「同じく西側のタクシー乗り場」、「乞田川北側のさくらまつの時期などの賑わい創出」、「京王プラザホテル跡地の施設にホール機能を」などについて意見が出されました。

委員からは、実情・課題については市の担当部署に伝えるとお答えしました。

今回の意見交換を通じて、多摩センター地区の課題を改めて認識し、その活性化に向けて今後の市の事業に対し意見を伝えていきたいと思います。



健康福祉常任委員会

1月11日、関戸公民館にて「TAMA認知症介護者の会 いこいの会」の皆さんをお招きし、認知症の方及びそのご家族の方々と意見交換をしました。この意見交換会を通じて、皆様の日々のご苦労や様々なご意見をお聞きし、支援の在り方について、改めて学び直すことができました。

いただいたご意見の主なものは、認知症デイサービス運営形態の充実、介護保険外サポートの充実、災害時のベッド型シェルター購入、介護者に補聴器購入の助成、移動支援の充実、みんなのトイレ設置、認知症条例の設置、介護者の心身ケア、GPSの小型化などです。

また、当委員会も認知症サポーターの増員や子ども達への啓発教育で地域参加型サポート制度の充実を提案しました。一方、認知症の方を守るために良いアイデアだと思っていたことも、ご本人やそのご家族にとっては少々負担であったり、多くの効果を望めないことであったりと、各委員が認識を改める場面もありました。このような率直な意見交換は、今後の支援策づくりに大いに役立つものと認識しています。

以上のことなどから、当委員会ではこれまでの学びや先進市視察などを振りかえり、今後の課題を以下の3点に整理しました。1点目は、「認知症見守りサポーターの養成や教育現場での啓発について」。2点目は「認知症個人賠償責任保険について」。3点目は「権利擁護の視点も踏まえたGPS等の安心サポートについて」としました。

今後も、この3点の課題を中心に、調査、研究、視察などを行い、認知症の方及びそのご家族が、地域で安心して暮らすための支援について議論を深めていきます。

